

各 位

上場会社名 IMV株式会社
 代表者 代表取締役社長 岡本 二郎
 (コード番号 7760)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 桂井 徹
 (TEL 06-6478-2565)

平成22年9月期第2四半期業績予想と決算値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年9月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,880	25	5	3	0.18
今回発表予想(B)	1,934	148	146	101	6.24
増減額(B-A)	54	122	140	98	
増減率(%)	2.9	485.4	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	2,755	113	111	26	1.61

平成22年9月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,880	16	8	7	0.43
今回発表予想(B)	1,912	142	145	98	6.05
増減額(B-A)	32	126	137	91	
増減率(%)	1.7	785.4	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	2,751	90	102	21	1.31

修正の理由

予想作成時のわが国の経済は、企業業績に回復基調が見られるものの、依然として先行きに不透明感が残っており、設備投資が軟調な情勢でありました。このような環境の中、当社グループは、期首の受注残高が低水準であったこともあり、第2四半期累計期間の業績については慎重に予想しておりましたが、期中に景況の回復が見られ韓国向けの受注が増加した他、鉄道車両用機器や電気自動車関連のテストラボ需要が増加したことも重なり、当初の予想を上回る売上高となりました。利益面につきましても、給与等の固定費削減が当初の想定を上回る効果を上げたことや限界利益率の改善もあり、予想を上回る結果となりました。

なお、第2四半期連結会計期間は予想を上回る業績となりましたが、第3四半期連結会計期間以降は給与削減幅の見直し等による固定費の増加や、研究開発活動の強化等を予定しており、費用は第2四半期連結会計期間と比較して増加する見込みです。よって、通期の業績につきましては、平成21年11月13日に公表いたしました平成21年9月期 決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

(注記事項)

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上